



2023年10月10日

マツダ、「JAPAN MOBILITY SHOW 2023」の出品概要を発表 出品テーマは「『クルマが好き』が、つくる未来。」

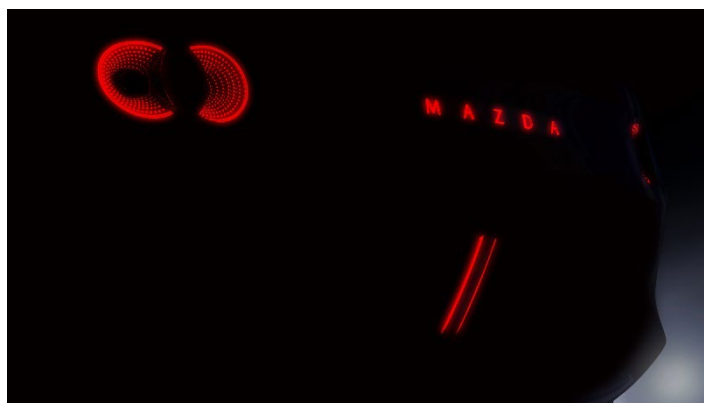
マツダ株式会社(以下、マツダ)は、10月28日から東京ビッグサイト(江東区:有明)にて一般公開される「JAPAN MOBILITY SHOW 2023(ジャパンモビリティショー)」*¹の出品概要を本日発表しました。

マツダの出品テーマは、「『クルマが好き』が、つくる未来。」です。人々の中にある「クルマが好き」という気持ちに寄り添い続けるマツダが考える未来の提案として、「前向きに今日を生きる人の輪を広げる」というマツダの企業理念を具現化した5つのテーマ展示を行います。



マツダの出品テーマ:「クルマが好き」が、つくる未来。

展示内容について、今回のテーマを象徴するコンセプトモデルを世界初公開します。また、同テーマの原点として1989年の発売当時から世界中で多くのお客様にご支持いただいている初代ロードスター、お子さまが実際にコックピットに乗り込んでオープンカー走行を疑似体感できる2/3スケールのロードスター、4代目ロードスターとしては最も大きな改良を織り込み10月5日に予約受注を開始した最新モデル、走る歓びを手動操作のみで味わうことができる福祉車両ロードスターSeDV*²などを展示します。



マツダのコンセプトモデル(世界初公開)

また、日本自動車工業会が主催するモータースポーツ展示において、次世代バイオディーゼル燃料を使用する「MAZDA2 Bio Concept」を出品します。

さらに、人気の子ども向け職業体感型施設「キッズニア」とのコラボレーションとなる「Out of KidZania」に参画します。マツダのモノづくりへのこだわりを感じていただく職業体験として、「砂型鑄造体験」(就学児向け)と「プレス工場の職人体験」(未就学児向け)の2種類を用意。マツダの工場を再現した環境で、未来の「クルマが好き」に繋がる子供たちに、モノづくりの楽しさをご体験いただきます。

マツダは、今後も「ひと中心」の価値観のもと「走る歓び」を進化させ続け、お客さまの日常に移動体験の感動を創造し、「生きる歓び」をお届けしていくことを目指してまいります。

■マツダ JAPAN MOBILITY SHOW 2023 特設サイト(10月10日 10:45 公開開始)

<https://www.mazda.co.jp/experience/event/japanmobilityshow2023/>

*¹ 主催は一般社団法人 日本自動車工業会。報道招待日は10月25日(水)8:00-18:00、10月26日(木)8:00-13:00。マツダのプレスカンファレンスは10月25日(水)9:15-9:30AMを予定。一般公開日は10月28日(土)から11月5日(日)。

*²SeDV: Self-empowerment Driving Vehicle(セルフ・エンパワーメント・ドライビング・ビークル)

以上
